



赤こんレポート

東恵子リポーター



アルゼンチンの食文化を近江八幡に

アサードと呼ばれるアルゼンチンの代表的な肉料理を提供する店を加茂町で開いた神野毅一さん。父の仕事のため幼少期をアルゼンチンで過ごしました。家族で帰国してからも、週末に親戚がそろると、じっくり肉を焼き上げて作るアサードでおもてなししていたそうです。25歳の時、2か月アルゼンチンを旅し、本場のアサードをいつの日か日本に広めたいと思うようになりました。アサードは、焼き上がる待ち時間もおしゃべりしながら楽しむ料理。ロードサイドで、景色が美しい滋賀で店舗を探し、移住されました。「空が広くて、大豆やそば畑がある近江八幡は、アルゼンチンと重なります」と、店を手伝う母の典子さん。「自然がいっぱいなのに、住みやすく便利な近江八幡で家庭を持ち、未来の子どもも育てたいな」と、照れくさそうに神野さんは話してくれました。

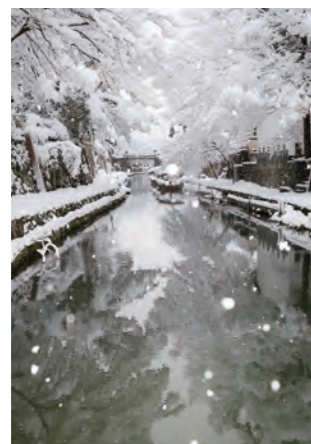


近江八幡市公式 Instagram



「#走れ赤こんくん」に投稿を

市内で撮ったとっておきの写真に、ハッシュタグ「#走れ赤こんくん」を付けてつながりましょう！投稿いただいた写真は広報紙面などで紹介させていただきます。



@t.yok0924さんの作品

赤こんレポート

丸柱 真優佳リポーター



桐原小学校で大根感謝祭

桐原小学校では、約10年前より、「師匠」である市民・生ごみリサイクルプロジェクトの皆さんと共に給食の残食で作った堆肥で無農薬の大根を育てる取り組みをされています。1月14日には、感染症対策万全の中、大根感謝祭が開催されました。大根にまつわる劇、紙芝居、クイズ大会、そして4年生が作ったリーフレット展示や手紙に師匠の皆さんも感動。地域のつながりのもとに実現している、このプロジェクト。皆さんの笑顔から温かい地域のつながりを感じました。

赤こんレポート

馬場利男リポーター



火の用心 カンカン♪

今年で3回目のふれあい年末夜警が12月28日、鷹飼団地自治会と育成会のコラボで開催されました。夜8時前に自治会館に集まった14人の児童たちが、「火の用心」と自治会役員・育成会役員と一緒に拍子木をたたいて、川を境目に北側と南側に分かれて、大きな声を響かせました。巡回中に出会う地域の人から、「ご苦労様」と声をかけられ、年末夜警の防災活動に協力していただきました。コロナ禍の中、3密にならないよう注意しながら15分程度の啓発でしたが、終了後、児童には自治会からお礼の品が渡されました。

1月5日



めざせ災害ゼロのまちへ

令和3年東近江行政組合消防本部の出初式が、近江八幡消防署で行われました。屋外訓練場に移って行われた消防演技では、近くの住民たちが見学する中、消防音楽隊の演奏や東日本大震災10年を受けて大規模地震により倒壊した建物からの救助や高層建物から逃げ遅れた人の救護活動が行われました。最後には、高層建物にむけて一斉放水。現場には新しく導入されたドローンやポンプ車、重機などが出動し、その性能を遺憾なく発揮しました。

1月8日



木札めがけて元気な年に

子どもたちが木札をめがけて小石を投げ、1年の健康を祈る新春行事「まじらこ(魔蛇羅講)」が安土町西老蘇の鎌若宮神社で開かれました。3メートルの高さに勸請縄を設置し、直径90センチほどの輪の中に吊るされた「天下泰平」と書かれた木札めがけて約50人の小学生が1人づつ小石を投げました。見事木札を割ったのは老蘇小5年の伴蒼空くん。「去年より強く投げて当てられたのがうれしい。元気に過ごせる1年にしたい」と喜んでいました。



12月12日



買い物×SDGs 小学生らがひみつを探る

市消費生活センターが、市内のこだわりのお店や生産者を親子で訪問・取材し、記者になりきり「ひみつ」を探る体験ツアー「かいもの<sup>まるまる</sup>と〇〇のひみつを探せ！」を開催しました。市内の小学生の親子17組・35人が「びわこ」「たべもの」「すまい」の3つをテーマに、市内の食品製造業者や養鶏場、建築業者などあわせて9か所を取材しました。1日を通して参加した小学生には、「SDGs子ども特派員」として小西理市長から任命書を授与。今後、子どもたちは学校や日常生活、地域での情報収集・発信に努めます。

12月26日



10年後の近江八幡って？ 子どもたちがユニークなアイデアを提案

近江八幡市子ども会育成者連合会の役員である小学5・6年生のジュニアリーダー12人が、ひまわり館で「10年後の私と近江八幡」をテーマに、小西理市長と懇談しました。子どもたちは、「琵琶湖を大切に」「スカイツリーのようなシンボルを建てる」「小学生も職場体験を行う」など楽しいまちや学校生活を願い、考えてきたことを小西市長に提案しました。小西市長は「皆さんの夢を実現するため、一緒に考えて行動していきましょう」と呼びかけました。